

令和7年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 339
事務事業名称		中学校給食における全員給食実施事業								
担当部署(R8年度機構)		部：	総合教育部	課：	おいしい給食課	区分	任意的事業			
基本項目	総合計画	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	任意的区分		
		施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち				性質	子育て・教育		
	市長公約との関係性		所信表明 (R5年9月)	○	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	事業期間		事業開始： 2020(R2)年度 ～ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)							
	根拠法令等		学校給食法							
	関係附属機関等		枚方市立中学校全員給食事業PFI事業者選定審査会							
	関係補助金等		該当なし 補助金性質： —							
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		成長期にある中学生が食育の実践とも言える、栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食を安定して摂ることで、健康な身体をつくとともに、生涯に渡る健康で豊かな食生活を送るための基礎を培うことが期待できる全員給食の実施。							
	対象者(受益者)		市立中学校生徒/市立中学校生徒の保護者							
	現状・課題		・中学生の健康増進と栄養バランスの確保 ・食への理解、望ましい食習慣など食育の推進							
	事業の概要		中学校給食は、子どもたちに栄養バランスの良い豊かな食事を提供するもので、健康増進や体位向上に加え、食育の教材として活用しやすくなり、より豊かな学校生活をめざすため、中学校の全員給食を行う。							
	年間の主な事務		新給食センター整備等における、実施方針や要求水準書の作成と事業者公募の実施。 PFI事業者選定審査会の開催。 配膳室改修に向けた中学校との調整。							

2. 事務事業への投入コスト(インプット)									
人 員 体 制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績			
	正職員		1.83人	1.58人	—	—			
	再任用		0.00人	0.10人	—	—			
	任期付職員		0.00人	0.00人	—	—			
	会計年度任用職員		0.00人	0.00人	—	—			
	特別職非常勤		0.00人	0.00人	—	—			
	附属機関委員		4.00人	4.00人	—	—			
決 算 額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)	
	歳 出	正職員、再任用、任期付職員	14,069	13,500	—	—			
		会計年度任用職員	0	0	—	—			
		特別職非常勤	0	0	—	—			
		附属機関委員	76	38	—	—			
		人件費計	14,145	13,538	—	—			
		物件費計	0	28,826	—	—	28,827	100.0%	
	歳出計		14,145	42,364	—	—			
	歳 入	国庫支出金	0	0	—	—	0	※正職員・再任用・任期付の 人件費は、人員配置をもとに 平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。	
		府支出金	0	0	—	—	0		
		受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0		
		市債	0	0	—	—	0		
		その他	0	0	—	—	0		
	歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	0	—	—	0		
	一般財源(物件費充当のみ)		0	28,826	—	—	28,827		

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 持続可能な中学校給食の運用開始に必要な整備達成率 ①配膳室エアコン設置、②備品購入、③懇話会開催、④今後の方針の決定、⑤方針に基づく計画の作成、⑥学校への説明、⑦第一共調設計委託、⑧可能性調査、⑨アドバイザー委託、⑩第三共調解体・設計、⑪配膳室拡張設計委託、⑫第三共調工事、⑬配膳室拡張実施工事、⑭第一共調改修工事、⑮物品・大型備品等の購入	%	51.3 %	58.7 %	— %	— %

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル	アウトプット①	説明	方針に基づいた諸活動について、適切に進めていく。					
		指標	各年度における活動達成率					
				R6	R7	R8	R9	単位
			目標	51.3	59.3	78	83.3	%
			実績	51.3	58.7	—	—	%
		算出方法	達成件数(累計)/本事業の給食提供が可能となるまでの各段階での諸活動数×100					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

	アウトカム①	説明	生徒にとって望ましい持続可能な全員給食を実施でき、全生徒が栄養バランスの取れた安全安心な給食を安定的に摂ることで、より豊かな学校生活の実現が可能になる。					
		指標	全員給食実施率					
				R6	R7	R8	R9	単位
			目標	0	0	0	0	%
			実績	0	0	—	—	%
		算出方法	全員給食実施校数/全中学校数×100					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

子どもたちの健康増進や体位の向上を図り、将来に渡る豊かな食生活を培う。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	新給食センターの整備をPFI方式で実施するにあたり、アドバイザー委託において事業者の公募を実施したが、参加意向を示す事業者がなかった。
R7年度	令和6年度に、参加表明がなかった新給食センターの公募について、4月に関係事業者に対しサウンディング調査を実施し、10月に再公告を行ったが、参加表明はなかった。中学校給食配膳室の拡充等設計委託については予定どおり完了した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	2年連続して、新給食センターの公募に対して参加表明が無かった。できる限り、早期の中学校全員給食の実施に向けた取組を進めていく。	R8年度方向性	見直し
----------	---	---------	-----

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	見直し	—	—

令和7年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報

調査番号 444

事務事業名称			小学校給食充実事業								
担当部署(R8年度機構)			部：総合教育部		課：おいしい給食課		区分		任意的事业		
基本項目	総合計画	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち					細区分	任意的区分		
		施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち					性質	子育て・教育		
	市長公約との関係性		所信表明(R5年9月)	○	市政運営方針	R6年度 ○	R7年度 —	R8年度	R9年度		
	事業期間		事業開始： 2015(H27)年度 ～ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)								
	根拠法令等		学校給食法								
	関係附属機関等		該当なし								
	関係補助金等		学校給食費支援事業補助金						補助金性質： 制度的補助		
	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		子どもたちに学校給食を通じて、食育を行い生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくむことが出来る状態。								
対象者(受益者)		枚方市立小学校で学校給食を喫食する児童/児童の保護者									
現状・課題		子どもたちの食生活の栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加、過度の痩身志向などの課題がある。									
詳細項目	事業の概要		・市内の全市立小学校の児童を対象に、2カ所の共同調理場(センター方式)、5カ所の親子調理場、22カ所の単独調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を直営または委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便等の業務について業務委託により実施する。 ・小学校給食の無償化について、今後も子育て世帯の負担軽減に取り組むとともに、学校給食摂取基準に基づく給食提供を引き続き実施する。 ・食材料費の物価高騰相当額を枚方市学校給食会に補助することで、児童に必要な栄養摂取量を満たした給食の安定的な提供を行うとともに質を確保した給食提供に取り組む。 ・学校給食の牛乳パックについて、民間事業者と連携してリサイクルに取り組むとともに、指導担当部署と民間事業者との調整で児童への環境啓発の取り組みに繋げており、引き続き実施する。								
	年間の主な事務		・市内の全市立小学校の児童を対象に、2カ所の共同調理場(センター方式)、5カ所の親子調理場、22カ所の単独調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を直営または委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便等の業務について業務委託により実施した。 ・小学校給食の無償化について2学期より実施し、子育て世帯の負担軽減に取り組むとともに、学校給食摂取基準に基づく給食提供を行った。 ・食材料費の物価高騰相当額を枚方市学校給食会に補助し、児童に必要な栄養摂取量を満たした給食の安定的な提供と質を確保した給食提供に取り組んだ。 ・学校給食の牛乳パックについて、民間事業者と連携してリサイクルに取り組むとともに、指導担当部署と民間事業者との調整で児童への環境啓発の取り組みを行った。								

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員		43.17人	47.62人	—	—
	再任用		2.00人	2.20人	—	—
	任期付職員		0.40人	0.20人	—	—
	会計年度任用職員		61.41人	54.47人	—	—
	特別職非常勤		0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員		0.00人	0.00人	—	—

決算額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	344,548	403,640	—	—	
			会計年度任用職員	214,860	228,884	—	—	
			特別職非常勤	0	0	—	—	
			附属機関委員	0	0	—	—	
		人件費計		559,408	632,524	—	—	
		物件費計		1,129,100	1,484,781	—	—	
	歳出計		1,688,508	2,117,305	—	—		
	歳入	国庫支出金	0	227,423	—	—	252,121	
		府支出金	0	0	—	—	0	(留意事項)
		受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	※正職員・再任用・任期付
		市債	0	0	—	—	0	の人員費は、人員配置を
		その他	0	77	—	—	78	もとに平均人件費を乗算
	歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	227,500	—	—	252,199	しています。
	一般財源(物件費充当分のみ)		1,129,100	1,257,281	—	—	1,223,670	※「歳入」欄には物件費に
								充当されるもののみ記載
								されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 確実な衛生管理のもと、給食を調理し、安全に提供する。	食	3,947,501 食	3,876,532 食	— 食	— 食
② 給食費を無償化する	%	100 %	100 %	— %	— %

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)							
アウトプット①	説明	調理した給食が確実に児童に提供される					
	指標	調理食数に対する提供率					
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	100	100	100	100	%
		実績	100	100	—	—	%
	算出方法	調理食数に対する提供率					

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)							
アウトプット②	説明	給食費を無償化する					
	指標	児童1人1日あたりに負担できた給食費					
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	100	100	100	100	%
		実績	100	100	—	—	%
	算出方法	給食費に対する市の負担率					

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)							
アウトプット③	説明	給食費を補助する					
	指標	補助金の交付件数					
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	22	22	22	22	件
		実績	22	22	—	—	件
	算出方法	小学校・中学校に補助金が交付された件数					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

直接アウトカム(結果による変化・便益)							
アウトカム①	説明	給食を通じて、児童の心身の健康が育まれる					
	指標	給食提供食数に対する喫食率					
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	100	100	100	100	%
		実績	100	100	—	—	%
	算出方法	喫食食数/給食提供数×100					

直接アウトカム(結果による変化・便益)							
アウトカム②	説明	子育て世代の負担を軽減する					
	指標	保護者実費負担分を軽減できた児童1人1日あたりの給食費					
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	100	100	100	100	%
		実績	100	100	—	—	%
	算出方法	市の負担額/給食費×100					

直接アウトカム(結果による変化・便益)							
アウトカム③	説明	子育て世代の負担を軽減する					
	指標	物価高騰で支援した食材料費を補助金で賄った割合					
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	100	100	100	100	%
		実績	100	100	—	—	%
	算出方法	支援した食材料費/補助金×100					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

児童に、安全で栄養バランスのとれた給食をおいしく食べてもらえるよう、衛生的かつ安定的な給食提供を継続していく。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	給食提供実施日すべてにおいて、共同調理場及び単独調理場で調理した安全で栄養バランスのとれた学校給食を全児童に提供することができた。
R7年度	給食提供実施日すべてにおいて、共同調理場及び単独調理場で調理した安全で栄養バランスのとれた学校給食を全児童に提供することができた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度 取組方針	引き続き、児童に安全で栄養バランスのとれた学校給食をおいしくたべてもらえるよう、食育も含めた安定的な給食提供に継続して取り組んでいく。 また、子育て世帯の経済的負担軽減を目的とした学校給食費の無償化を行っています。食物アレルギー等の事情で喫食できない児童のいる世帯への代替支援として、補助金給付を行う。	R8年度 方向性	拡充
--------------	--	-------------	----

参 考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	拡充	—	—

令和7年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 445
事務事業名称		学校給食調理場施設維持管理事業								
担当部署(R8年度機構)		部：	総合教育部	課：	おいしい給食課	区分	持続的事業			
基本項目	総合計画	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			細区分	維持管理区分			
		施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			性質	子育て・教育			
	市長公約との関係性		所信表明 (R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	事業期間		事業開始： 不明 ～ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)							
	根拠法令等		学校給食法							
	関係附属機関等		該当なし							
	関係補助金等		該当なし 補助金性質： —							
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		学校給食衛生管理基準に基づいた適切な施設維持管理が行われることにより、安全でおいしい給食を安定的に児童生徒に提供する。							
	対象者(受益者)		枚方市立小中学校の学校給食調理場の設備等/枚方市立小中学校で学校給食を喫食する児童生徒及びその保護者。							
	現状・課題		老朽化が進む調理場の効率的な維持管理や調理場のドライ化を進めなければならない。							
	事業の概要		共同調理場・単独調理場において下記の維持管理業務等を実施する。 ・業務委託(塵芥処理・害虫駆除・各種設備定期点検・グリストラップ清掃等) ・各種改修工事(建築物・設備)							
	年間の主な事務		共同調理場・単独調理場の施設管理に係る委託や、施設修繕及び工事等に関する事務。							

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員		1.60人	1.51人	—	—
	再任用		0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員		0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員		0.80人	0.80人	—	—
	特別職非常勤		0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員		0.00人	0.00人	—	—

		(千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
決算額	歳出	正職員、再任用、任期付職員	12,301	12,396	—	—		
		会計年度任用職員	3,050	3,446	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
		人件費計	15,351	15,842	—	—		
		物件費計	129,641	103,250	—	—	153,403	67.3%
	歳出計		144,992	119,092	—	—		
	歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	(留意事項) ※正職員・再任用・任期付 の人件費は、人員配置を もとに平均人件費を乗算 しています。 ※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみに記載 されています。
		府支出金	0	0	—	—	0	
		受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
市債		149,400	26,600	—	—	58,300		
その他		22,705	0	—	—	0		
歳入計(物件費に充当される特定財源)		172,105	26,600	—	—	58,300		
一般財源(物件費充当分のみ)		0	76,650	—	—	95,103		

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 必要な修理・修繕を実施する。	件	119 件	153 件	— 件	— 件
② 必要な保守点検等を実施する。(塵芥処理・害虫駆除・各種設備定期点検・グリスアップ清掃等)	件	19 件	19 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル

アウトプット①	説明	学校給食調理場の継続的な運用が可能になる。					
	指標	修理・修繕により、継続的運用が可能になった調理場及び配膳室の数					
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	64	64	64	64	か所
		実績	64	64	—	—	か所
		算出方法	全64か所				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①	説明	—					
	指標	—					
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
		算出方法	—				

学校給食調理場が適正に維持管理される。

ロジックモデル

アウトプット②	説明	学校給食調理場が適正に維持管理される。					
	指標	保守点検等により、適正に維持管理された調理場数					
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	29	29	29	29	か所
		実績	29	29	—	—	か所
		算出方法	全29か所				

アウトカム②	説明	—					
	指標	—					
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
		算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

児童・生徒に衛生管理が徹底された安全でおいしい給食を安定的に提供できる。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	年々、施設や厨房機器の経年劣化等での修繕が増加する中、必要な修理・修繕及び点検等については、滞りなく実施することができた。また、施設や設備の緊急対応以外の修理・修繕等については、事前調査のうえ状況を見極め実施するなど、適正な運用に努めた。
R7年度	年々、施設や厨房機器の経年劣化等での修繕が増加する中、必要な修理・修繕及び点検等については、滞りなく実施することができた。また、施設や設備の緊急対応以外の修理・修繕等については、事前調査のうえ状況を見極め実施するなど、適正な運用に努めた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度 取組方針	安全で衛生的な給食を安定的に提供できるよう、適正な施設の維持管理を継続していく。	R8年度 方向性	現状維持
--------------	--	-------------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 447
事務事業名称		学校給食における地元農産物利用促進事業								
担当部署(R8年度機構)		部：	総合教育部	課：	おいしい給食課	区分	任意的事業			
基本項目	総合計画	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			細区分	任意的区分			
		施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			性質	子育て・教育			
	市長公約との関係性		所信表明 (R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	事業期間		事業開始： 2017(H29)年度 ～ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)							
	根拠法令等		学校給食法							
	関係附属機関等		該当なし							
	関係補助金等		該当なし 補助金性質： —							
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		地元産の食材を使用した学校給食を提供する。							
	対象者(受益者)		枚方市立小学校給食を喫食する児童							
	現状・課題		昨今の温暖化等による異常気象で予定していた量の確保が困難になっている。							
	事業の概要		小学校給食用食材として大阪府内産を含めた地元農作物の利用促進を図っている。令和4年度より精米の納入先を切り替え、地元農産物の使用率が大幅に減少したが、引き続き枚方産及び府内産野菜の積極的な活用に取り組んでいる。今後は、献立等を工夫することにより、できるだけ多く地元農産物に触れる機会を設けるよう取り組む。							
	年間の主な事務		小学校給食用食材として大阪府内産を含めた地元農作物の利用促進を図った。献立等を工夫することにより、できるだけ多く地元農産物に触れる機会を設けるよう取り組んだ。							

2. 事務事業への投入コスト(インプット)									
人員体制	(人)			R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績		
	正職員			0.35人	0.52人	—	—		
	再任用			0.00人	0.05人	—	—		
	任期付職員			0.00人	0.00人	—	—		
	会計年度任用職員			0.00人	0.00人	—	—		
	特別職非常勤			0.00人	0.00人	—	—		
	附属機関委員			0.00人	0.00人	—	—		
決算額	(千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	2,691	4,534	—	—		
			会計年度任用職員	0	0	—	—		
			特別職非常勤	0	0	—	—		
			附属機関委員	0	0	—	—		
		人件費計		2,691	4,534	—	—		
		物件費計		0	0	—	—	0	0.0%
	歳出計			2,691	4,534	—	—		
	歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	(留意事項) ※正職員・再任用・任期付 の人員費は、人員配置を もとに平均人件費を乗算 しています。 ※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。
		府支出金		0	0	—	—	0	
		受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
		市債		0	0	—	—	0	
		その他		0	0	—	—	0	
		歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	
	一般財源(物件費充充分のみ)			0	0	—	—	0	

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 小学校給食用食材として、大阪府内産を含む地元農作物を使用する。	日	135 日	147 日	— 日	— 日

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル

アウトプット①

説明

小学校給食用食材として、大阪府内産を含む地元農作物の利用が促進する。

指標

R6

R7

R8

R9

単位

目標

70

70

70

70

%

実績

68.5

74.6

—

—

%

算出方法

枚方・大阪府内産の米・野菜の使用日数／給食提供日数×100

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明

地元農産物を使用することで、地域産業への関心や理解を深めるなどの食育を行うことが可能になる。

指標

R6

R7

R8

R9

単位

目標

100

100

100

100

%

実績

100

100

—

—

%

算出方法

枚方・大阪府内産農産物を使用した献立表にて記載した回数／全献立表記載回数×100

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

地元産の野菜類の使用について、異常気象等により厳しい状況も懸念されるが、使用頻度を引き上げていけるよう、献立の工夫や業者との調整に取り組んでいく。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6 年度	野菜類については、枚方産・府内産合わせて20品目33.1トン、うち枚方産は16品目24.2トン(えんどう豆、玉葱、さつまいも、大根、キャベツ、白菜、じゃがいも、ほうれんそう、チンゲンサイ、なす、小松菜、人参、かぼちゃ、里芋、冬瓜、青葱)を使用した。
R7 年度	野菜類については、枚方産・府内産合わせて17品目26.6トン、うち枚方産は14品目14.3トン(えんどう豆、玉葱、じゃが芋、かぼちゃ、なす、さつまいも、小松菜、チンゲン菜、ほうれん草、大根、白菜、キャベツ、人参、青葱)を使用した。
R8 年度	
R9 年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度 取組方針	地元産の野菜類の使用については継続的に実施していくが、精米の使用については精米事業者の今後の対応によるため引き続き難しい状況である。農家数の減少や天候等により厳しい状況も懸念されるが、提供日数等を増やしていくなど、野菜類については引き続き積極的に取り組んでいく。	R8年度 方向性	現状維持
--------------	---	-------------	------

参 考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報

調査番号 448

事務事業名称		食物アレルギー対応推進事業							
担当部署(R8年度機構)		部：	総合教育部	課：	おいしい給食課	区分	任意的事業		
基本項目	総合計画	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			細区分	任意的区分		
		施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			性質	子育て・教育		
	市長公約との関係性		所信表明 (R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	事業期間		事業開始： 2017(H29)年度 ～ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)						
	根拠法令等		学校給食法						
	関係附属機関等		該当なし						
	関係補助金等		該当なし 補助金性質： —						
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		食物アレルギーを持つ児童生徒がアレルゲンのある給食を誤食しないよう安全な給食の提供方法を徹底できている状態。						
	対象者(受益者)		枚方市立小中学校で給食を喫食する食物アレルギーを持つ児童生徒						
	現状・課題		食物アレルギーを持つ児童生徒がアレルゲンのある給食を誤食してしまう。						
	事業の概要		・食物アレルギー対応の適切かつ的確な取り組みを進める。 ・学校給食における食物アレルギー対応上の事故(救急搬送)件数(新規発症を除く)が0件となるよう、より一層の安全を確保する。 ・中学校給食において、8大アレルゲンを使用しない代替食の提供を行う。						
	年間の主な事務		・食物アレルギー対応の適切かつ的確な取り組みを進める。(随時) ・調理場関係職員を対象にアレルギーに関する説明を実施する。(年1回) ・アレルギー担当部署と連携し、学校現場を対象に、研修や事故、ヒヤリハット等事例発生時の情報共有を図る。(通年) ・中学校給食において、8大アレルゲンを使用しない代替食の提供を行う。(学校給食提供期間中)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人 員 体 制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員		0.56人	0.57人	—	—
	再任用		0.00人	0.20人	—	—
	任期付職員		0.24人	0.28人	—	—
	会計年度任用職員		0.00人	0.00人	—	—
	特別職非常勤		0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員		0.00人	0.00人	—	—

決 算 額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
	歳 出	正職員、再任用、任期付職員	5,507	7,233	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
		人件費計	5,507	7,233	—	—		
		物件費計	0	0	—	—	0	0.0%
	歳出計		5,507	7,233	—	—		
	歳 入	国庫支出金	0	0	—	—	0	(留意事項) ※正職員・再任用・任期付 の人員費は、人員配置を もとに平均人件費を乗算 しています。 ※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。
		府支出金	0	0	—	—	0	
		受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
		市債	0	0	—	—	0	
		その他	0	0	—	—	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	0	—	—	0	
	一般財源(物件費充当のみ)		0	0	—	—	0	

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① アレルギーに対応した給食を提供する。	回	198 回	198 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル

アウトプット①

説明

食物アレルギーを持つ児童生徒が、アレルゲンのある給食を誤食しないよう安全な給食が提供される。

指標

R6

R7

R8

R9

単位

目標

100

100

100

100

%

実績

100

100

—

—

%

算出方法

安全な給食を提供した回数/全給食提供回数×100

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明

安心・安全な枚方の給食が提供される。

指標

R6

R7

R8

R9

単位

目標

0

0

0

0

件

実績

0

0

—

—

件

算出方法

—

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

マニュアルを順守して安全な給食を提供できるアレルギー対応部署と協力しながら、児童生徒が安心して給食を喫食できる安全な給食の提供と事故防止に取り組む。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6 年度	学校と連携しながら、マニュアルに基づいた運用を適正に行うことで、食物アレルギーのある児童生徒に対して、安全な給食提供を実施することができた。
R7 年度	学校と連携しながら、マニュアルに基づいた運用を適正に行うことで、食物アレルギーのある児童生徒に対して、安全な給食提供を実施することができた。
R8 年度	
R9 年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度 取組方針	関係部署と連携しながら、毎年説明会等を開催するなど、対応の強化に努め、食物アレルギーのある児童生徒が安心して給食を喫食できるよう、今後もマニュアルを順守して安全な給食を提供していく。	R8年度 方向性	現状維持
--------------	---	-------------	------

参 考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報

調査番号 449

事務事業名称			中学校給食充実事業							
担当部署(R8年度機構)			部：総合教育部		課：おいしい給食課		区分	任意的事業		
基本項目	総合計画	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち					細区分	任意的区分	
		施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち					性質	子育て・教育	
	市長公約との関係性		所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	事業期間		事業開始： 2017(H29)年度 ～ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)							
	根拠法令等		学校給食法							
	関係附属機関等		該当なし							
	関係補助金等		該当なし 補助金性質： —							
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		生徒たちに学校給食を通じて、食育を行い生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくむ。							
	対象者(受益者)		枚方市立中学校で給食を喫食する生徒/生徒の保護者							
	現状・課題		生徒たちの食生活の栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加、過度の痩身志向などの課題							
	事業の概要		・市内の全市立中学校の生徒を対象に、第一学校給食共同調理場において、調理、配送、食器等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を委託で実施するとともに、米飯の炊飯や配膳、検便、施設の機械警備等の業務について業務委託により実施する。 ・中学校給食は、平成28年度から選択制ランチボックス方式により希望する生徒への提供を行っている。 ・食材料費の物価高騰相当額を枚方市学校給食会に補助することで、生徒に必要な栄養摂取量を満たした給食の安定的な提供を行うとともに質を確保した給食提供に取り組む。 ・学校給食の牛乳パックについて、民間事業者と連携してリサイクルに取り組むとともに、指導担当部署と民間事業者との調整で生徒への環境啓発の取り組みに繋げており、引き続き実施する。							
年間の主な事務		・市内の全市立中学校の生徒を対象に、第一学校給食共同調理場において、調理、配送、食器等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を委託で実施するとともに、米飯の炊飯や配膳、検便、施設の機械警備等の業務について業務委託により実施した。 ・食材料費の物価高騰相当額を枚方市学校給食会に補助し、生徒に必要な栄養摂取量を満たした給食の安定的な提供を行うとともに質を確保した給食提供に取り組んだ。 ・学校給食の牛乳パックについて、民間事業者と連携してリサイクルに取り組むとともに、指導担当部署と民間事業者との調整で生徒への環境啓発に取り組みを行った。								

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員		1.97人	1.90人	—	—
	再任用		0.40人	0.20人	—	—
	任期付職員		0.40人	0.55人	—	—
	会計年度任用職員		0.00人	0.23人	—	—
	特別職非常勤		0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員		0.00人	0.00人	—	—

決算額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
	歳出	正職員、再任用、任期付職員	19,279	19,592	—	—		
		会計年度任用職員	0	590	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
		人件費計	19,279	20,182	—	—		
		物件費計	445,415	517,052	—	—	515,233	100.4%
	歳出計		464,694	537,234	—	—		
	歳入	国庫支出金	0	65,893	—	—	73,049	
		府支出金	0	0	—	—	0	
		受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
		市債	0	0	—	—	0	
		その他	0	0	—	—	0	
		歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	65,893	—	—	73,049	
	一般財源(物件費充当分のみ)		445,415	451,159	—	—	442,184	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の
人件費は、人員配置を
もとに平均人件費を乗算
しています。
※「歳入」欄には物件費に
充当されるもののみ記載
されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 中学校給食喫食率の向上に向けた取り組みを実施する。 (献立表発行部数)	部	115,720 部	117,080 部	— 部	— 部

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロ ジ ック モ デ ル	ア ウ ト プ ツ ト ①	説明	各種取り組みを通じて、中学校給食が充実する。					
		指 標	中学校給食喫食者数					
				R6	R7	R8	R9	単位
			目標	4,839	4,845	4,849	4,907	人
			実績	3,721	3,713	—	—	人
			算出 方法	給食提供対象者数				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

ア ウ ト カ ム ①	指 標	説明	給食を通じて、生徒の心身の健康が育まれる。					
		喫食率						
				R6	R7	R8	R9	単位
			目標	50	50	50	50	%
			実績	39.1	39.9	—	—	%
			算出 方法	給食を喫食した生徒数/全生徒数×100				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

生徒に、安全で栄養バランスのとれた給食をおいしく食べてもらえるよう、衛生的かつ安定的な給食提供を継続していく。中学校給食について広くPRして行くとともに、利用しやすい魅力ある給食を提供していく。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6 年度	生徒の身体の健全な発達に資するため、第一学校給食共同調理場で調理した安全で栄養バランスのとれた学校給食を滞りなく提供することができた。また、主食(ご飯)の選択や給食費の振り込み方法など、利便性を図るための案内を文書等で周知するなど、継続して喫食率の向上に努めた。こうしたことで、喫食率は前年度よりも上昇している。
R7 年度	生徒の身体の健全な発達に資するため、第一学校給食共同調理場で調理した安全で栄養バランスのとれた学校給食を滞りなく提供することができた。また、主食(ご飯)の選択や給食費の振り込み方法など、利便性を図るための案内を文書等で周知するなど、継続して喫食率の向上に努めた。こうしたことで、喫食率は前年度よりも上昇している。
R8 年度	
R9 年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度 取組方針	引き続き中学校給食における課題を検証の上、改善に取り組み、その内容を広く周知していくとともに、安全で利用しやすい魅力ある給食への手法を検討しながら、喫食率の向上に向けて取組みを進めていく。	R8年度 方向性	現状維持
--------------	--	-------------	------

参 考	方向性の経過	R6年度方向性 (R5実績測定)	R7年度方向性 (R6実績測定)	R8年度方向性 (R7実績測定)	R9年度方向性 (R8実績測定)	R10年度方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 899
事務事業名称		おいしい給食課運営事務								
担当部署(R8年度機構)		部：	総合教育部	課：	おいしい給食課	区分	行政運営事業			
基本項目	総合計画	基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分		
		施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営		
	市長公約との関係性		所信表明 (R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	事業期間		事業開始： 不明 ～ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)							
	根拠法令等		決裁							
	関係附属機関等		該当なし							
	関係補助金等		該当なし 補助金性質： —							
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		おいしい給食課の各事業が円滑に執行できている状態。							
	対象者(受益者)		おいしい給食課職員・職場							
	現状・課題		おいしい給食課の各事業が円滑に執行できない。							
	事業の概要		課の運営事務							
	年間の主な事務		学校給食の運営全般に関すること。							

2. 事務事業への投入コスト(インプット)									
人員体制	(人)			R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績		
	正職員			2.01人	2.47人	—	—		
	再任用			0.00人	0.25人	—	—		
	任期付職員			0.00人	0.00人	—	—		
	会計年度任用職員			0.00人	0.10人	—	—		
	特別職非常勤			0.00人	0.00人	—	—		
	附属機関委員			0.00人	0.00人	—	—		
決算額	(千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
	歳出	内 訳	正職員、再任用、任期付職員	15,453	21,601	—	—		
			会計年度任用職員	0	256	—	—		
			特別職非常勤	0	0	—	—		
			附属機関委員	0	0	—	—		
		人件費計		15,453	21,857	—	—		
		物件費計		10,244	2,927	—	—	1,384	211.5%
	歳出計			25,697	24,784	—	—		
	歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	(留意事項) ※正職員・再任用・任期付 の人員費は、人員配置を もとに平均人件費を乗算 しています。 ※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。
		府支出金		0	0	—	—	0	
		受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
		市債		0	0	—	—	0	
		その他		0	0	—	—	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
	一般財源(物件費充当分のみ)			10,244	2,927	—	—	1,384	

3. 具体的な活動(アクティビティ)					
年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① —					

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)							
ロジックモデル	アウトプット①	説明	—				
		指標	—				
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標					—
		実績					—
		算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)							
ロジックモデル	アウトカム①	説明	—				
		指標	—				
			R6	R7	R8	R9	単位
		目標					—
		実績					—
		算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)					
—					

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	各運営事務について、組織として円滑に事務執行を行うことにより、安全で栄養バランスのとれた美味しい学校給食を確実に児童・生徒へ提供できた。
R7年度	各運営事務について、組織として円滑に事務執行を行うことにより、安全で栄養バランスのとれた美味しい学校給食を確実に児童・生徒へ提供できた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	他部局や各調理場との連絡、調整を図りながら、正確かつ迅速に事務処理を行い、円滑な事務執行を行う。	R8年度方向性	現状維持
----------	--	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	▶ 現状維持	▶ 現状維持	▶ —	▶ —